

平成19年度 東北地区知的障害者福祉協会 授産施設部会 合同職員研究協議会福島大会に参加して

虹のかけはし・浄土 洋輔

ワークセンターしおさい・鳥羽田 祐

平成19年11月15日（木）・16日（金）に福島県・飯坂ホテル聚楽で行われた授産施設部会合同職員研究協議会に参加しました。

1日目は長谷川浅美氏より、『障害者自立支援法の抜本的見直し』について基調講演が行われました。今後は福祉予算拡充や、サービス利用者自身が程度区分に関わらず自己選択・決定できるべきであることが挙げられました。また、仕事を行うにあたり、やりがいを大切にして取り組むことを再認識しました。

第1分科会では、「望ましい新体系移行のための効果的運営のあり方について」のもと、3施設より施設運営のあり方や自立訓練・就労移行・商品作成について発表がありました。

第2分科会では、「工賃倍増を目指し授産活動の

活性化を図るには」のもと、工賃アップのために向けた工夫やプロの採用、品質向上について意見が出されました。

2日目は、『21世紀の福祉 キーワードは「主体性」』の演題のもと、雄谷良成氏より講演が行われました。「働くこと」や「自立」について説明があり、働くときと休むときのメリハリをしっかりとつけて臨むことが話されました。また、仕事をする際は利用者・他職員の考えを吸い取る努力を続けてほしいとのことでした。

今回の研修を通じて、働くことをしっかり理解してもらおうと同様に、やりがいをもって仕事に取り組める施設作りをしていきたいと思いました。あらためて、地域密着の重要さと働くことの「原点」を振り返ることができました。

平成19年度 第5回全国知的障害者授産施設運営研究協議会に参加して

天真庵・森 清香

ワークセンターしおさい・大和田 三佳

平成19年11月29日（木）・30日（金）の2日間、静岡県浜松市にて、第5回全国知的障害者授産施設運営研究協議会に参加しました。

1日目は、弁護士の立場から見た障害者自立支援法についての記念講演でした。2日目の第1分科会では、「移行前、移行後の就労移行支援事業への取り組みと課題」、第2分科会では、「新支援事業体系への移行の取り組みと問題点」というテーマで、各施設の作業状況や、就労にむけて力をいれているこ

となど、貴重な話を聞くことができました。

この研修に参加して、どの施設でも障害者自立支援法に不満や疑問を持ちながら、その中でどのようにして利用者のニーズに応えていけばよいのか、様々な工夫や努力をしているということを痛感しました。障害者自立支援法の中で、利用者にとって不利な内容、おかしいと思われる部分などは、現場からどんどん声を上げて主張しなければならないと思いました。

編集後記

今年は子年。十二支の始まりの年です。

「偽」の言葉が多かった昨年ですが、今年はどうなるのでしょうか。楽しい話題が少しでも多い年になればと思います。

新しい年、新しいスタート、新たな目標を掲げ、気持ちも新たに今年一年、何事にも取り組んでいきたいと思えます。

これからの予定

やしおみ荘

- 1月
- ◎新年会、初釜
- 2月
- ◎園児との交流
- ◎節分
- ◎上遠野小学校との交流
- 3月
- ◎ビデオ鑑賞会
- ◎雛祭り

ふじみ更生園

- 2月
- ◎花見

上旬

虹のかけはし

- 1月
- ◎福祉マーケット（JAグリーンプラザ）
- 19日（土）
- ◎新年会

ワークセンターしおさい

- 1月
- ◎福祉マーケット（JAグリーンプラザ）
- 20日（日）
- ◎新年会
- 2月
- ◎節分

天真庵

- 1月
- ◎新年会

